

徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

「ある人、弓射ることを習ふに」を読んで、問いに答えなさい。

ある人、弓射ることを習ふに、諸矢をたばさみて的に向かふ。師のいはく、「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。後の矢を頼みて、始めの矢に①なほざりの心あり。毎度ただ②得失なく、この一矢に定むべしと思へ。」と言ふ。

わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。懈怠の心、自ら知らずといへども、(ア)師これを知る。この戒め、万事にわたるべし。

道を学する人、夕べには朝あらんことを思ひ、朝には夕べあらんことを思ひて、重ねて③ねんごろに修せんことを期す。④いはんや⑤一刹那のうちにおいて、懈怠の心あることを知らんや。なんぞ、ただ今の一念において、直ちにすることのはなはだかたき。

問1 線①「なほざり」の意味を次の中から選び○でかこみなさい。

- ア：いい加減
- イ：勿体ない
- ウ：雑念
- エ：油断

問2 線②「得失なく」の意味を次の中から選び○でかこみなさい。

- ア：損得を考えず
- イ：成功・失敗を考えず
- ウ：特別なことはなく
- エ：失うことはなく



問3 線③「ねんごろ」の意味を次の中から選び○でかこみなさい。

- ア：気軽に
- イ：親しみをもって
- ウ：熱心に
- エ：親密な関係になって

問4 線④「いはんや」の意味を次の中から選び○でかこみなさい。

- ア：ましてや
- イ：いやいやながら
- ウ：いつのまにか
- エ：ゆるされず

問5 線⑤「一刹那」と同じ意味をもつことばを本文から抜き出して答えなさい。

問6 線ア「師これを知る」とあるが、「これ」の指す内容を本文から5字以内で抜き出して答えなさい。

問7 「弓射ること」と並んで、「懈怠の心」についての戒めとして語られていることは何か。「…こと」と続くように本文から抜き出して答えなさい。

問8 師が「二つの矢を持つことなかれ」と戒めたのはなぜか。本文からその理由としてふさわしい一文を抜き出して答えなさい。

問9 「定むべし」の助動詞「べし」の意味と活用形を答えなさい。

【意味】

【活用形】



問10 「知らず」の助動詞「ず」の意味と活用形を答えなさい。

【意味】  
【活用形】

問11 「おろそかにせん」の助動詞「ん」の意味と活用形を答えなさい。

【意味】  
【活用形】

問12 「万事にわたるべし」の助動詞「べし」の意味と活用形を答えなさい。

【意味】  
【活用形】

問13 「修せん」の助動詞「ん」の意味と活用形を答えなさい。

【意味】  
【活用形】



## 徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 ア

【解説】「なほざり」は、「おろそかだ・いいかげん・本気でない」という意味を持っている。

問2 イ

【解説】「得失」は、「成功と失敗」という意味を持っている。

問3 ウ

【解説】「ねんごろ」は、「心をこめる・ていねい・熱心である」という意味を持っている。

問4 ア

【解説】「いはんや（況んや）」は、「言うまでもなく・ましてや」という意味を持っている。※況（きょう）は、「たとえる」という意味を持っていることから「たとえる」に「や」の反語の係助詞がつくことで、「言うまでもなく」という意味になるとイメージしよう。

問5 一念

【解説】「刹那」は、仏教語で「極めて短い時間」という意味。「一念」も、仏教語で「極めて短い時間」という意味。

問6 懈怠の心

【解説】「自ら知らずといへども」で「自分では分からなくても、」という意味になるので、「自分では（懈怠の心があることを）分かっていなくても、師はそれを分かっている」という内容になる。

問7 道を学する（こと）

問8 後の矢を頼みて、初めの矢になほざりの心あり。



問 9 【意味】 意思  
【活用形】 終止形

問 10 【意味】 打ち消し  
【活用形】 終止形

問 11 【意味】 意思  
【活用形】 終止形

問 12 【意味】 推量  
【活用系】 終止形

問 13 【意味】 意思  
【活用系】 連体形

